

同窓会助成就職支援講座開催報告

臨床検査科では、新入生オリエンテーションの一環として、平成 28 年 4 月 6 日（水）に「臨床検査技師への意識付け講座」を開催しました。本学臨床検査科卒業生（15 期生）で、現在、佐藤病院検査科にご勤務の瀬尾京子先生に、「職場の先輩からのメッセージ」と題し、講演を行っていただきました。新入生は、臨床検査技師として活躍されている先輩の話聞くことにより、具体的な臨床検査技師像をイメージすることが出来ただけでなく、今後の専門教育への学習意欲を高めることが出来たようです。

平成 24 年より、同窓会の支援を受けて新入生意識付け講座を毎年開催できることに感謝申し上げます、今後とも後輩の指導にご助力いただけますよう、お願い申し上げます。



■ 学生の感想

「検査は患者様にとって非日常であり、とても緊張することだ」という言葉が印象に残りました。「相手の立場になって考える」ことを忘れず大きく成長して、医師からも患者様からも信頼されるような臨床検査技師になりたいとあらためて思いました。

「検体は全て親、兄妹のものと思いなさい」と教えていただきました。血液一滴に多くの情報が入っているので、検体を大切に扱うだけでなく、検体の後ろには患者さんがいると思って実習します。

文責：臨床検査科 中原貴子